東京工業大学　「ぐるなび」食の未来創成寄附講座
食文化共同研究会 公開講義シリーズ　第３回 公開講義

食の選択に影響を与える文化的要因―文化人類学的アプローチから―

食のハラールと食文化(1)：アジアの食のハラール

開催日時　平成25年3月1日（金）９：５０～１４：００（開場９：２０）

内　容

ハラールとは、イスラーム法（シャリーア）で合法であるモノ・行いを意味する。しかし、何がハラールで何がそうでないかは、地域によって、宗派によって、また個人によっても受け止め方が異なる。

グローバル化の中で、食のハラールに対して異なる実践をしてきた人々が出会い、世界各国で多様なハラール認証団体が生まれている。本講義では、アジアにおける食のハラールの実態と問題を、具体的な事例から描く。

- 砂井 紫里氏（早稲田大学イスラーム地域研究機構・研究助手）
  アジアにおけるハラール産業の現在　―その拡がりとつながり―
- 川畑 亜瑠真氏（京都大学大学院　アジアアフリカ地域研究研究科　博士課程）
  （NPO法人日本ハラール協会　研究員）
  日本におけるハラールサービスの現状と課題
- 阿良田 麻里子（東京工業大学「ぐるなび」食の未来創成寄附講座 特任助教）
  食のハラール認識の多様性と食選択の戦略　―インドネシアを事例に―
- ハラール弁当試食会

会　場

キャンパス・イノベーションセンター
５０１号室　リエゾンオフィス
JR田町駅 芝浦口 徒歩1分
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
＊ 会場には駐車場はございません。
車でのご来場はご遠慮ください。

申込方法

参加費は無料ですが、弁当試食ご希望の方は、ご予約のうえ、実費を当日お支払いください。
氏名・所属・連絡先・弁当予約の有無・弁当の種類を明記して、メールにてお申し込み下さい。
ハラール弁当は、二宮で注文する予定です。三種類（チキンジャワトマトカレー550円・ビーフスマトラカレー600円・ナシゴレン＆鶏唐揚げ650円）のなかから一つお選びください。
（参考：http://ninomiyacorp.co.jp/food/item/pdf/itemCatalog.pdf）

gnavi.titech.kifu@gmail.com

定員: 50名（申込締切2/18）

＊頂きました個人情報は、公開講義の参加者管理の目的以外には使用致しません。
＊事前申し込みをしていない場合でも、当日、会場に余裕があればご参加いただけます。
ただし、ハラール弁当の申し込みは2月１９日以降は受け付けません。

＜問い合わせ先＞
東京工業大学大学院　イノベーションマネジメント研究科 「ぐるなび」食の未来創成寄附講座
TEL：03-3454-8705／FAX：03-3454-8973（担当：尾崎・阿良田）

主 催：東京工業大学 大学院 イノベーションマネジメント研究科「ぐるなび」食の未来創成寄附講座　食文化共同研究会

- 9:20～
  開場、受付開始

- 9:50～9:55　髙井 陸雄（「ぐるなび」食の未来創成寄附講座 特任教授）
  開講の辞

- 9:55～10:10　阿良田 麻里子（「ぐるなび」食の未来創成寄附講座 特任助教）
  イントロダクション：食のハラールとは

- 10:10～11:10　砂井 紫里氏（早稲田大学イスラーム地域研究機構・研究助手）
  アジアにおけるハラール産業の現在　―その拡がりとつながり―

　近年、ハラールへの関心はムスリムのみならず世界規模で高まりをみせている。ハラール産業の拡大とグローバル化にともない、一方ではハラールの意味合いと担い手の多様化、また一方ではハラールの制度化やハラール基準の共有の模索、そして科学技術の適用によるハラール性の検証など、ハラールをめぐる拡大と収斂のせめぎあいが生じている。今回は、アジアのハラール産業の現在を概観するとともに、ハラール関連の国際会議での最新の議論を紹介する。

- 11:10～11:30　コーヒーブレイク

- 11:30～12:00　川畑 亜瑠真氏（京都大学大学院アジアアフリカ地域研究研究科　博士課程）
  （NPO法人日本ハラール協会　研究員）
  日本におけるハラールサービスの現状と課題

　訪日旅行市場ではイスラム圏からのインバウンドはこれまであまり目立つ存在ではなかった。しかし、世界中でムスリム旅行者の存在感が増している中、東南アジアからの訪日旅行者に注目が高まりつつあり、ハラール食や礼拝場所の提供、ムスリムホスピタリティーといった点に留意したハラールツーリズムという新しいサービスに注目が集まっている。本講義ではムスリム対応サービスにいち早く 着手したNPO、旅行産業、外食産業の3事業者の事例を紹介し、日本におけるハ ラールサービスの現状と課題を明らかにしていく。

- 12:00～13:00　阿良田 麻里子（「ぐるなび」食の未来創成寄附講座 特任助教）
  食のハラール認識の多様性と食選択の戦略　―インドネシアを事例に―

　インドネシアは、国民の約9割をムスリムが占める世界最大のムスリム大国であるが、6つの公認宗教を認める多宗教多民族の国でもある。本講義では、多宗教多民族の混在するインドネシア都市部を事例としてとりあげる。
　グローバル化や近代化の潮流の中で、ハラール性に関してこれまでにない新たな問題が様々な分野で起こる中で、一般消費者が食べ物の選択をする際に用いている戦略や、食のハラールに対する人々の認識の多様性を概観し、生活文化としての食のハラールのありかたを考える。

- 13:00～14:00　ハラール弁当試食会